

五ヶ丘まちづくりニュースレター



第14号



令和8年度 第4回五ヶ丘活性化プロジェクト全体会を開催しました！

8月22日（土）、益富交流館で第4回五ヶ丘活性化プロジェクト全体会を開催し、27名にご参加いただきました。今回は、3つのグループから各グループでの活動内容について報告し、全体で意見交換をしました。地域の皆さんが楽しく安心して暮らせるまちを目指し、イベントや交流の場づくり、子育て支援の充実について話し合いを進めています！



①あいさつ

五ヶ丘活性化プロジェクト 寺崎会長

五ヶ丘を活性化するために夏祭りを実施しているが、イベントを企画して人を集めるというのは大変なこと。外でのイベントは当然、人が集まらなると活性化しない。今後、みんなが集まりたくなるようなイベントを色々企画して実践すると活性化していくと思うので、引き続き頑張って取り組んでいきましょう！

寺崎会長



抽選のようす

②五ヶ丘夏祭りでのアンケート抽選

五ヶ丘夏祭りで実施したWebアンケートには、252人から回答をいただきました。ご協力大変ありがとうございました！

回答者の中から抽選を行い、五ヶ丘自治区連合会の中山会長と田中副会長の立会いのもと、公正に実施され、10人の当選者が決まりました。当選された方には、景品としてお米やハンディファンを贈呈します。今後も、みなさんのご意見をまちづくりに活かしていきたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いします。



③まちづくりの取組について（各グループからの取組報告）

3つのグループ（つながり・にぎわい創出、まちづくりの場（施設）創出、仕組みづくり）から各グループで取り組んできたことや、次に取り組むこと等について発表しました。

●各グループからの報告内容

【つながり・にぎわい創出グループ】



地域のつながりを広げるイベントづくり

ラジオ体操や夏祭りなどの取組を通じて、地域のつながりづくりを進めています。夏祭りのアンケートでは、卓球やテニス、ボッチャなどのスポーツイベントを希望する声が多く寄せられました。今後は、実施しやすい内容から取り組み、参加者の意見を聞きながら地域のにぎわいづくりにつなげていきます。



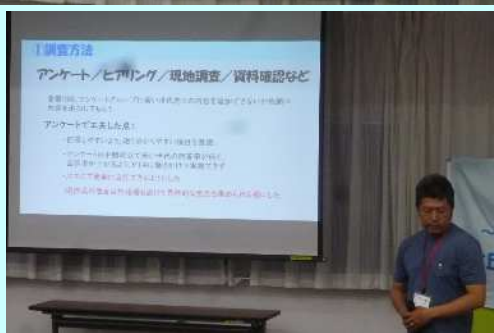
【まちづくりの場（施設）創出グループ】



みんなが集まれる場所づくり

アンケートでは、夏祭りの継続を望む声が多く寄せられました。また、カフェや飲食スペース、スポーツ施設、子どもの遊び場など、多世代が交流できる場所を求める意見も多くありました。

五ヶ丘の魅力は「安全で住みやすい環境」にあることも分かりました。今後は、子育て世代に選ばれるまちづくりや、住民のみなさんが集まりたくなる場所づくりを検討していきます。若い世代への調査では、高齢化や買い物場所の少なさ、道路や交通の課題が挙げられました。また、子育て支援や子どもの居場所づくりが重要であるという意見が多くありました。



【仕組みづくりグループ】



子育てを支える仕組みづくり

子育て世代への聞き取りでは、一時預かりサービスの充実や、気軽に相談できる場所が求められていることが分かりました。そのため、子育てや暮らしに関する相談ができる「よろず相談所」のような仕組みづくりを検討しています。また、地域の子育て支援に協力してくれる人材の募集についても検討を進めています。さらに、小学校と地域が協力しながら子どもたちを見守り、育てていける仕組みづくりも考えています。



第5回全体会は9月26日（土）14時から益富交流館2階中会議室で開催します。五ヶ丘活性化プロジェクトにご興味のある方又は一緒に活動していただける方は下記連絡先へご連絡ください。 ※これまでの取組については市HPでご覧いただけます。



【発行】五ヶ丘自治区連合会、五ヶ丘活性化プロジェクト、
豊田市（高橋支所 地域振興担当） 令和8年9月

【連絡先】電話：80-0077、メールアドレス：takahashi-shisho@city.toyota.aichi.jp

